



# 華となれ!

宮城県仙台二華中学校  
学校だより 第42号  
【発行日】平成31年3月22日  
【連絡先】022-296-8104  
【文責】  
副校長 阿部 一彦

## 【 中学校 卒業式 1 】

3月16日(土)に、多くのご来賓並びに保護者の皆様にご参列いただき、卒業式が行われました。104名の卒業生の、今後ますますのご活躍を期待しています。

また、本校の学校教育やPTA活動にご理解とご協力をいただきました保護者の皆様に改めまして感謝と御礼を申し上げます。卒業式での山内校長の式辞を紹介いたします。



桜梅桃李

本日、ご来賓の皆様にご臨席を賜りまして卒業式をできますことに感謝いたします。

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんが本校に入学してから、3年の月日が経ちました。今、皆さんの胸中は清々しい満足感と、新たな旅立ちへの希望で満ち溢れていることと思います。学校生活には、喜びに沸いたこと、悩み苦しんだこと、全力で挑戦したこと、そして、時には悲しみにくれたこともあったことでしょう。しかし、その一つ一つの積み重ねが皆さんをたくましく成長させ、今ここにあるのです。今日に至るまでのたゆまぬ努力と研鑽を心から称えたいと思います。保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。自分の世界ができ、自律を始めた我が子の成長に一抹の寂しさを覚えつつも、思わず目を細めていらっしゃるのではないのでしょうか。考えてみますと、人の一生で親子と一緒に生活する時間、学校生活を送る期間はそれほど長くはありません。一緒にいる間に教えることは教え、伝えたいことは伝えながら、少しでも充実した時を共に過ごしたい、それが親心であり、私たち教師の願いです。いつの世も我が子の幸せを願う親心は、どんなときにも子どもにとって一番の励ましとなることでしょう。これからも成長するお子様を温かく見守り続けていただきますようお願いいたします。

さて、本日ここに中学校の過程を修了し、卒業の日を迎えた皆さんに最後の授業を行い、はなむけとしたいと思います。始めに、皆さんが手にした卒業証書について話をします。この一枚の紙の中には、たくさんの思いが込められています。卒業証書の題字の後には、あなたの名前が刻まれています。先程、担任の先生から呼名された名前です。あなたの名前には、ご家族の深い想いと愛情、そして期待が込められています。まず、そのことを自覚してください。

次には、誕生日が書かれています。今から15年前のその日に、皆さんは生まれました。その日のご家族の喜びを想像してみましょう。

あなたは、多くの人の喜びと祝福の中でこの世に生を受けました。誕生した日から今日までのことを振り返ってみてください。あなたは、たくさんの人からたくさんの心配と、お世話をしてもらい今日まで生きてきました。このことも忘れないでください。

証書の真ん中には、皆さんが今日3月16日に中学校の全課程を修め、卒業すると書かれてあり

ます。3年前、入学の時、皆さんは大きな希望を胸にこの場に整列していました。初めて制服に手を通した時の感激。初めて授業を受けた時の緊張を覚えていますか。なぜ、今この質問をしたのでしょうか。理由は二つあります。一つはこの3年間の努力を振り返り、心に刻んでほしいから。もう一つは、初心を思い起こしてほしいからです。自分はなぜここにあるのか。今も学ぶ心の火は灯されているのか。今も挑戦する気概を失ってはいないのか。自身の胸に問いかけてみましょう。以前、私はこの壇上から皆さんに、「学校は何をする所でしょう」と問い掛けました。この時の答えは、「学校は勉強する所」でした。では、何を勉強するのでしょうか。私は生き方を勉強するのだと考えています。国語や英語の授業、部活動や学校行事に打ち込むのも、進路目標に向け努力するのも、実はそのことを通じて生き方を学んでいるのだと思います。この生き方ですが、実は中々やっかいです。なぜなら、答えが一つでは無いからです。10人いれば10通りの、100人いれば100通りの生き方がある。つまり、どうやら生き方には、自分らしい生き方や、自分らしく生きるということがあるようです。



そこで、次の問いが生まれます。では、自分らしさとは何でしょう。自分らしく生きるとは、どういうことでしょうか。手掛かりは、他人の中にあります。自分を知りたければ、自分以外の周りの人、他人のこと、そして、世の中のことをよく知ることです。自分らしさとは、他者との関係の中から見えてくるものが多いということです。他人を思い、社会を知り、そして自身の在り方、生き方を考える。自分らしさ、つまり、自分がある・存在する価値を見出し、役目を自覚する。自分らしく生きるとは、よりよく生きることなのです。それは、自分の役目は何か、幸せとは何かという問いにもつながっています。皆さんは、自分の役目を見つけましたか。

私に答えの用意はありません。正解を教えてもらおうという心の癖は捨てましょう。正解は皆さん一人一人が自分で考えるしかありません。皆さんがこれから飛び込んでいく世界は、自分で課題を探し、自分で答えを見つけていく世界です。テレビのクイズ番組のように、既に解かれて存在する正解をできるだけ早く答えるというような生き方は通用しません。皆さんには、与えられた問いに答えるよりも、問いそのものを生み出す人になってほしいと思います。そのために、必要な力を学校で、社会で磨いてください。自ら問いをたて、答えに迫ることは、自身の生き方を考え、見つけることにも通じます。10代、20代というこの時期に、皆さんが何を思い、何を考え、全力で取り組もうとするのか。それは、その人がどんな人生を送ろうとするのかに通じています。学校で、そして、大学で何を学ぶかは、社会で何をするのかという、自分の役目を見つけることにもつながっています。大学に入るということは、役目を実行に移すための始まりであり、そのことが人生の目的ではありません。人生の目的は更にその先にあります。自分には、自分たちには使命がある、役目があると自覚してください。

卒業証書の最後には、証書の番号がふられています。この番号は本校第1回卒業生から連綿と続くものであり、あなたが本校の課程を修めた卒業生の一人であることを称しています。皆さんには、仙台二華の卒業生であるという誇りを胸に、自分らしく生きることを全力で追いつけてほしいと思います。

4月、皆さんは改めて、仙台二華の生徒となります。中学の卒業、高校への入学は、未来に挑戦する新たな学びの始まりです。学ぶ心の火を灯し、皆さんの希望を語り合うことを楽しみにしています。

平成31年3月16日

宮城県仙台二華中学校・高等学校 校長